

「私たちの清掃ボランティア活動」

自治体名：日本 富山県

発表者名：高岡市立伏木中学校

活動期間：平成15年4月～現在

活動場所：伏木中学校校下及び国分浜、松太枝浜、伏木港万葉埠頭

活動人数：300人

○活動を始めた経緯

高岡市が行っている社会を明るくする運動の一環として「クリーン作戦」という環境ボランティア活動から派生し、海浜並びに港の清掃を始めた。

○活動結果

自治体主体の清掃ボランティアから、生徒会主催の地域の清掃ボランティアへと発展させた。

○発表要旨

伏木地区は富山県の高岡市の北にあり、富山湾に面し、後ろに緑豊かな二上山を配した地形から古くから国府が置かれたり貿易港として栄えたりした。今なお、多くの名所や史跡、豊かな自然にあふれている。

1 生徒会中心の活動

このすばらしい環境を守るため、伏木中学校では生徒会が中心になって環境美化ボランティア活動を行っている。放課後に行った学校中庭の花壇の植え替えや草むしり、ちょっとした時間を利用した外のゴミ拾いや床磨きなどの校内清掃などの校内美化だけでなく、地域の環境美化にも取り組んでいる。生徒会企画「Clean up ふしき」は3コースで7月7日の放課後に清掃活動した。

Bコース

駅前の道路には、たばこの吸い殻が多かった。



Cコース

ガードレールの奥に空き缶や菓子の空き袋などが落ちていた。



2 総合学習の時間での取り組み

総合学習の時間に学校近くの国分浜の清掃活動を行った。国分浜は、ゴミで汚れていた。浜には漂着物だけでなく不法投棄のゴミもある。海中にもゴミがある。拾ったゴミを分別すると、ジュースの空き缶や、機械の部品、鍋まであった。

国分浜清掃活動

国分浜は、道路のすぐそばにあり、人や車の出入りが激しい。



花火をした後のゴミも何ヶ所かにあった。



3 地域での取り組み

高岡市では、毎年、海開きの日により地域の人々による国分浜や松太枝浜の清掃がある。松太枝浜のゴミは国分浜のゴミとちがってほとんどが漂着物である。また、伏木港祭りの花火大会の翌日は、万葉埠頭の清掃活動を行っている。万葉埠頭には乾電池や釣針・釣糸等が落ちていた。

4 漂着物調査への参加

平成14年からは松太枝浜の漂着物調査にも参加。松太枝浜では4区画(400㎡)の範囲を調査した。調査の結果、松太枝浜は100㎡あたり954個、2791gの漂着物があった。プラスチック類の占める割合が、個数の70.1%、重量の65.5%で、他の調査地域と比べて一番高かった。さらに、プラスチック類の中では、破片が50%以上を占めていた。これは、プラスチック類が壊れ易いため、波で細かくなったためと考えられる。

松太枝浜

金属、ガラス・陶磁器類の数は少なかった。



プラスチック類の数が一番多かった。細かくて数えるのも大変であった。



5 まとめ

海浜清掃では、花火などの持ち込まれたゴミが多く、大変汚れていた。ゴミを持ち帰るのは当然の事だと思うが、それを守らない人がある。また、漂着物調査の結果から、海のゴミ問題は世界各国で協力してゴミを減らさないと解決しない問題だと思う。ゴミのポイ捨てをする人を減らすためには、みんなにゴミを減らしボランティアを進んでほしいと呼びかけることが大切だと思う。そして、この環境ボランティア活動をもっと広め、環境を守ろうという意識を少しでも高めていきたいと思う。